商工くろいし

誠実 行動 親切

編集発行：黒石商工会議所
〒036-0307
青森県黒石市市ノ町5-2
TEL 0172(52)4316
FAX 0172(53)3875
URL http://www.k-cci.or.jp/
E-mail kuroishi@k-cci.or.jp

●黒石商工会議所と歴代会頭

＜黒石商工会議所＞

黒石商工会議所は、商工会議所法に基づき設立された地域経済団体である。その前身である黒石町商工会時代を含めるとその歴史は「百年目」という節目を迎えている。

商工会議所の歴史を振り返ると、1599年フランスのマルセイユにおいて世界最初の商工会議所が誕生した。一方、わが国においては、明治11年（1878年）に東京・大阪・神戸に最初の商工会議所が設立された。現在では、日本商工会議所を頂点として、全国の主要都市・地域に500を超える商工会議所がある。各地商工会議所は、地域を基盤としている点が特徴であり、会員は事業規模の大小にかかわらず、農業を含むあらゆる業種・業態の商工業者から構成され、地域における商工業者の世論を代表し商工業の振興発展に努めるなど公的な性格をもつ法人である。

黒石においては、大正５年（1916年）７月９日に黒石町商工会が発足され、その後、昭和22年（1947年）６月１日に社団法人黒石商工会議所へと改組された。新組織では初代会頭に舘山徳太郎氏が選任された。昭和28年10月には、商工会議所法施行を経て、昭和29年８月14日に新法適用によって、黒石商工会議所に通産大臣から特殊法人の認可が下り、特殊法人黒石商工会議所に移行され現在に至っている。

黒石商工会議所通常議員総会 昭和57年３月27日

その間、戦後の好景気による高度経済成長及び安定成長期、バブル景気、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災による経済的影響など様々な経済情勢下において、青森県、黒石市、関係機関団体、会員企業、市民の皆様など多くの方々のご指導・ご支援・ご協力のもと地域経済団体としての事業活動を展開してきた。

＜歴代会頭＞

黒石町商工会時代（大正５年７月から昭和22年５月まで）は、初代会長の故鳴海義文氏、２代会長の故佐藤清吉氏を中心に組織された。その後の黒石商工会議所時代（昭和22年６月から昭和29年８月：社団法人・昭和29年８月から現在：特殊法人）は、初代会頭の故舘山徳太郎氏から現職（13代会頭）の村上信吾氏まで、それぞれの時代において地域経済団体としての事業活動に取り組まれ、現在へと引き継がれている。とりわけ、10代会頭の故横山園吉氏（1976～1989年：約13年）、11代会頭の故中村勝治氏（1989～2007年：約19年）は在任期間の長さからもその貢献度の高さが窺える。また、横山氏は昭和62年春藍綬褒章、中村氏は平成13年秋藍綬褒章を受章している。長きにわたり黒石商工会議所の事業活動等に貢献された歴代会頭をはじめとする先人の方々に敬意を表したい。

＜歴代会頭一覧＞

歴代	氏名	在任期間
初代会長	鳴　海　義　文	前身 黒石町商工会
２代会長	佐　藤　清　吉	
初代会頭	舘　山　徳太郎	昭22.６.～昭25.９
２代会頭	佐　藤　與三郎	昭25.９～昭29.５
３代会頭	木　村　良　一	昭29.６～昭31.６
４代会頭	斉　藤　金一郎	昭31.６～昭34.８
５代会頭	中　村　亀　吉	昭34.８～昭36.７
６代会頭	斉　藤　金一郎	昭36.７～昭38.６
７代会頭	須　藤　喜代日	昭38.６～昭41.10
８代会頭	千　葉　元　造	昭41.10～昭49.２
９代会頭	大久保　惣之助	昭49.２～昭51.７
10代会頭	横　山　園　吉	昭51.７～平 元.３
11代会頭	中　村　勝　治	平 元.４～平19.10
12代会頭	北　山　　肇	平19.11～平24.10
13代会頭	村　上　信　吾	平24.11～

記事：小野智憲

●黒石こみせまつり

玉置（たまき）　英子（えいこ）

＜例年通りに明日は無い＞

消防団の観閲式と祭りが組み合わせのイベントは全国でも珍しい。息子が団員だった頃は観閲式を観に行き、見終わった後はなんとなく店を覗いてみたり、初秋の街並みの雰囲気に満足して家路に。これが私の「こみせまつり」初デビュー。かつて、弘前の土手町で商売をしていた私は、同日に行われるカルチャーロードを思い出しました。年々努力の甲斐あって大勢の人で賑わい、歩くのもままならない状態。飲食、手作り作品販売、段ボール迷路、各小中学校の防犯ポスター展示、消防署は梯子車を出動させ希望者に体験させるなど、多種多様なイベントで盛り上がっていた記憶があります。時節柄、近隣地域はイベント尽くし。「こみせまつりに行かなきゃ損」と思わせるイベントにするのが大きな課題です。

＜新しい事へのチャレンジで未来へ繋ぐ＞

２年前に手作り作品販売のブースを横町に「手しごとロード店」として設け、急な声がけにも関わらず、４件出店してもらいました。昨年は７件、今年は11件と参加者が少しずつ増えています。昨年の出店者が思った以上の収益があったとのことでリピーターもいます。昨年より今年、今年より来年と毎年内容を充実させ新しいものを取り入れ集客率アップを図りたいと考えています。

＜与えたものしか返らない、結果は後から付いてくる＞

主催者側は無事に終わってくれることを願う、これは当然のこと。年間スケジュールに組み込まれ、またこの時期が来たからやりますではなく、自分たちが楽しい、楽しみと感じているか。自分が楽しく、自分が感動するものは相手も同じように感じるのです。来場者が楽しめた結果、多くの収益を上げることにも繋がっていくのではないでしょうか。あの時こうしていれば…と後悔するより、行動を起こすことが大切で、反省することはもっと大事だと思います。

＜プロフィール＞
玉置英子（たまき・えいこ）
平成20年６月、青森県黒石市で県内の作家の手作り工芸品などを販売する「李紗羅（いさら）」をオープン。現在に至る。

●読者プレゼントに応募して、商品券をＧＥＴしよう！（詳しくは裏面の記事をお読みください）